

報道関係各位

東京国立近代美術館工芸館移転連携事業「近代工芸のススメ」

展覧会について

平成 30 年度の東京国立近代美術館工芸館移転連携事業トップバッターとして、石川県輪島漆芸美術館において下記展覧会を開催いたします。

東京国立近代美術館工芸館の石川県金沢市への移転に先立ち、近・現代の優れた工芸作品をより多くの方々にご覧いただきます。明治期から現代まで、漆芸を中心に陶磁、金工、木工、人形、ガラス、染織の多彩な作品を一堂に展示紹介する第一部、石川県にゆかりの漆芸作家を、当館の所蔵品も交えてご紹介する第二部の二部構成です。技法とともにわかりやすく解説することによって、幅広い世代に対し、工芸の楽しみ方をご提案します。

展覧会名	東京国立近代美術館工芸館移転連携事業「近代工芸のススメ」
会 期	2018 年 7 月 21 日（土）～9 月 3 日（月）*会期中無休
開館時間	午前 9 時～午後 5 時（入館は閉館の 30 分前まで）
入 館 料	一般 620（510）円、高大学生 310（210）円 小中学生 150（100）円 *（ ）内は 20 名以上の団体料金
主 催	輪島市・東京国立近代美術館
共 催	石川県
後 援	文化庁・NHK 金沢放送局・テレビ金沢・北國新聞社

展示作品

東京国立近代美術館所蔵の漆芸作品を中心に、幅広い分野から近現代工芸の中核をなす重要無形文化財保持者（人間国宝）等の代表作品 46 点、石川県輪島漆芸美術館が所蔵する作品からも 14 点、計 60 点が展示される。

【内訳】

漆工 43 点、陶磁 8 点、ガラス 2 点、木工 2 点、染織 1 点、人形 2 点、金工 2 点

※うち、人間国宝の作品 24 点、日本芸術院会員の作品 7 点（人間国宝と重複した作品を除く）

本件に関する お問い合わせ	石川県輪島漆芸美術館 担当 寺尾 〒928-0063 石川県輪島市水守町四十苅 11 番地 TEL 0768-22-9788 FAX 0768-22-9789 E-mail:urushiart@ca1.wannet.jp URL: http://www.city.wajima.ishikawa.jp/art/
------------------	--

代表的な作家

松田権六（漆工）	人間国宝	1896-1986年	石川県出身
前 大峰（漆工）	人間国宝	1890-1977年	石川県出身
山崎覚太郎（漆工）	日本芸術院会員	1899-1984年	富山県出身

関連イベント

●開会式

日 時 7月21日（土）午前9時00分～
会 場 当館エントランスホール
出席者 東京国立近代美術館長 神代 浩氏 ほか

●オープニング・ギャラリートーク

日 時 7月21日（土）午前9時30分～
講 師 唐澤昌宏氏（東京国立近代美術館 工芸課長）
会 場 当館展示室 *要入館券

●講演会

日 時 7月22日（日）午後1時30分～午後3時
講 師 唐澤昌宏氏（東京国立近代美術館 工芸課長）
会 場 当館講義室 *受講無料・予約不要

●石川県輪島漆芸美術館文化講座

第1回 漆文化セミナー
日 時 8月19日（日）午後1時30分～午後3時
講 師 谷口 出氏（石川県立美術館 学芸主幹兼課長）
会 場 当館講義室 *受講無料・予約不要

●ワークショップ 沈金箸色付体験（1膳 800円）

日 時 7月28日（土）午後1時～午後4時
29日（日）午前10時～午後1時
8月18日（土）午後1時～午後4時
19日（日）午前10時～午後1時

●職人による沈金・蒔絵実演

日 時 8月2日（木）午前9時～午後5時
会 場 当館エントランスホール

作品画像一覧



1



2



3



4



5



6



7



8



9

1 石黒宗麿《白地黒絵魚文扁壺》1940-41年頃／2 鹿児島寿蔵《紙塑人形 さぬのちがみのおとめ》1960年／3 山崎覚太郎《喫煙具》1935年頃／4 前 大峰《沈金芒絵飾箱》1959年／5 松田権六《長生の器》1940年／6 岩田藤七《鉢》1937年／7 芹沢銈介《紬地型絵染二曲屏風 四季》1960年／8 佐々木象堂《蠟型鑄銅置物 瑞鳥》1958年／9 藤井達吉《草花図屏風》1916-20年頃

*全て東京国立近代美術館蔵